

縄文杉トレッキングについて

1. 縄文杉トレッキングの距離と歩行時間

●縄文杉トレッキングとは？

樹齢約2700年とも7000年とも言われる、屋久島に自生する最大級の屋久杉「縄文杉」を見て帰ってくる往復のトレッキングで、世界遺産に登録されている地域も歩きます。歩行時間は約10時間（混雑時はそれ以上）、また往復距離も22キロと長いトレッキングになります。

●トレッキングの地図・距離や歩行時間など



- ・歩行時間：約10時間（往復、休憩含む）
- ・歩行距離：約19キロ（往復）
- ・高低差：約700メートル
- ・トレッキング開始地：荒川登山口
- ・トレッキング終了地：荒川登山口

歩行時間について

上記の歩行時間は小休憩やお昼休憩を挟んだ時間で、荒川登山口からトレッキングを開始して、縄文杉を見て荒川登山口まで戻ってくるまでの合計の時間となります。ですが混雑時にはこれ以上の時間がかかることもありますし、また個人の体力によっても大きく変わります。あくまで参考として「縄文杉トレッキングには10時間かかる」、ということで計画を立てておきます。

高低差について

トレッキングの開始地点である「荒川登山口」の標高は600メートルほどで、縄文杉の標高は1300メートル付近になります。ですので、荒川登山口から700メートル以上は高いところに登ることとなります。ちなみに高低差700メートルは、富士山でいうと吉田口の五合目（約2300m）から七合三勺（約3000m）までくらいになります。

2. 縄文杉トレッキングの流れ・行程

8月7日(月)			
2日目	時刻	スケジュール	備考
	4:30	起床	
	4:50	朝食	
	5:20	旅館出発	
		↓バス移動	移動中仮眠 チャーターバス
	6:50	荒川登山口到着	
	7:00	トレッキング開始	
		↓登山	
	12:00	昼食	弁当
		↓登山	
	12:45	縄文杉到着	
		↓登山	
	17:30	荒川登山口到着	
	17:45	荒川登山口出発	
	19:15	田代別館到着	
	19:20	入浴	
	19:50	夕食	
	20:30	自由時間	翌日準備
	21:00	クエスノート記入	
	21:15	就寝準備	
	21:30	就寝	

3. トレッキングコース詳細



縄文杉トレッキングのコースは往復19キロとかなりのロングコースです。一本道でしっかりと整備された道を歩くので迷う場面はないと言ってよく、また水場やトイレも多いので安心して歩けます。

コースには前半戦と後半戦で大別できます。

前半戦は川に沿ってトロツコの線路の上をひたすら歩きます。ほとんどわからない様なゆるやかな登り坂が延々と続き、ウォーミングアップに最適な区間です。

後半戦は「大株歩道入り口」から始まります。ここまではかなり平坦な道を歩いてきましたが、ここから傾斜の厳しい本格的な山歩きとなります。登山道は整備された木の階段が続くので歩きやすいですが、ウィルソン株を過ぎてしばらくするまではきつい登りが続きます。それが終われば縄文杉まで比較的ゆるやかな角度の道が続きます。

●荒川登山口



屋久杉自然館からの登山バスが到着する荒川登山口。ここからトレッキングがはじまる。写真手前のレールがトロッコ道。この上を歩いて行きます。

●トロッコ道の様子



このような感じで線路上をひたすら歩いて進みます。枕木の上を歩くか歩かないか、歩幅が合わないで非常に歩きづらく感じるかも知れません。無理をせずウォーミングアップのつもりでゆっくりと歩くのがおすすめです。後ろから人が来たらずっとください。

●小杉谷の休憩所



歩き始めてから約40分。小杉谷小中学校跡の隣にある休憩所です。携帯トイレのブースもあります（ペーンの下の方で説明しています）。この辺りからトロッコ道は格段に歩きやすくなります。

●楠川別れ



30分後、楠川別れ。ここは「白谷雲水峡」への分岐点になっていて、休憩ができるちょっとしたスペースがあります。この道標の反対側に白谷雲水峡への道がありますが、構わずトロッコ道を進み続けます。

●大株歩道入り口



楠川別れからおおよそ1時間10分、トレッキングを開始してから2時間20分後、大株歩道入り口に到着します。この橋をわたるのではなく、橋の手前右手に縄文杉への山道が始まっています。ここから道は厳しくなるので、ここでトイレにいたりストレッチをしたりして、一息入れてから山道に入りましょう。そして今までの歩くペースは忘れ、ここで一旦グンと落とす様にしましょう。

●ウィルソン株



40分後、ウィルソン株に到着。推定樹齢3000年。ウィルソン博士が命名。ベンチのある少し拓けたスペースなので休憩するのに適しています。

●登山道の様子



歩きやすい木の階段道ですが、角度はきつい疲れやすいです。ゆっくりと登り、後ろがつまって来たらどこかでゆずってしまいましょう。

●縄文杉



ウィルソン株から、「大王杉」「夫婦杉」「くぐり杉」と見ながら登り、そして1時間10分後、ついに縄文杉に到着です。しかしここには休憩する様な場所がなくちょっとした縄文杉を眺めるためのステージがあるだけです。混んできたら他の人に譲ってください。



4. トレッキングの「トイレと水場」情報

●トイレはたくさんあります

縄文杉トレッキングのコース上には、携帯トイレブースを含め合計6箇所もトイレが用意されています。トイレの場所は下記の6箇所です。コースの地図にもトイレの場所を記載しています。

- ・荒川登山口（水洗トイレ）
- ・小杉谷小中学校跡（携帯トイレブース）
- ・楠川別れ（バイオトイレ）
- ・大株歩道の手前、仁王杉のあと（携帯トイレブース）
- ・大株歩道入り口（水洗トイレ）
- ・大王杉と夫婦杉の間（携帯トイレブース）

「携帯トイレブース」とは携帯トイレを使用するための小屋、もしくはテントのようなものです。シーズン中はトイレが混雑することが多いので携帯トイレを各自持参します。いざという時携帯トイレがあれば自然環境を汚すこともありません。

●携帯トイレの使用方法（例）

「サニタクリーン 携帯トイレ」86g/500円で購入

こちらは屋久島山岳部利用対策協議会で用いているものと同様です。



本体の袋は結構大きく、“キリトリ”線に沿って袋の上部を開封します。袋はガサガサして固めなので形を保つことが出来ます。屋久島のようにトイレブースに便座だけが設置してある場合は便座にはめ、便座がない場合は下の写真のように和式便所のような形を作って使います。袋の外形は四角ですが、両端にカーブがつけられているので簡単にこのような形を作れ、おしっこがパッドを無視して袋の端っこに溜まるようなことはありません。大きさは和式便所と同じくらいになり、このサイズは使いやすいだろうと思います。



中に貼られているパッドはオムツのようなもので、おそらくこれは水分を固めるだけの機能だと思います。上に乗ったうんちなどはそのままですが、この袋自体にも防臭の効果があると説明書きがあります。



サニタクリーンの場合、この外袋“超防臭チャック袋”がウリのようです。なかなか丈夫そうなチャックが付いていますし、袋が分厚いので破れて中身が出るということはなさそうです。ここに何個も入れられ、繰り返し使えるとのことなのでもし使用した場合は袋は捨てずに再利用できます。

●マナー

①協力金を払おう

これらのシステムを維持するために使用者は協力金（チップ）という形で支払うことになっています。利用者は必ず払いましょう。そのためには100円玉が必要です。金額は100円～300円程度なので1500円分くらいを100円玉で用意しましょう。



②ティッシュはトイレットペーパーで

普通のポケットティッシュは水に溶けにくく、特に燃烧式トイレではポンプを詰まらせてしまう危険がありますから使用してはいけません。代わりに、トイレットペーパーを持参しましょう。少しずつ巻いてポーチなどに入れておきます。最近では「水に溶けるポケットティッシュ」なども販売されています。

トイレットペーパーを持って行く場合はビニール袋や、ビニール製の巾着などに入れていきます。濡れると水を吸って合体して使えなくなり、ただの重いゴミを持ち運ぶことになってしまうので特に万が一雨の日は注意しましょう。

芯の所にヒモを通して首に掛けることができるようにしておくと、両手が空いて便利です。

③あると便利なポーチ



トイレ使用料はチップ制となっているので、トイレに行く時には小銭を持って行くのが必須。そんなときに大活躍なのがこのショルダーポーチが便利です。小銭やティッシュだけでなく、携帯電話など行動中いつでもサッと取り出したいものを入れるのに大活躍です。丈夫なシルナイロンやジッパーで中身が落ちることがないもの、掛けているのも負担がない軽さが望ましいです。ストラップを短めにできるものなら体にフィットするので歩行中も邪魔になりません。

④ゴミは捨てない

当然の事ですが、ゴミを便器に入れてはいけません。うっかりポケットにしまっていたウェットティッシュを間違っ捨てたりすることがないように気をつけましょう。

⑤節水しよう

使用後にウォーターガンで流すタイプがありますが、水は節約して使用します。

⑥大量のトイレットペーパーはダメ

特に燃焼式では、ポンプで送る際にトイレットペーパーが詰まってしまうおそれがあるそうです。できれば最低限での使用に協力しましょう。他のタイプのトイレに関してもトイレットペーパーゴミが少ないように一人ひとりが心がければ処理量も減ります。

⑦トイレ内

夜間や雨の時、トイレを長時間占領して休憩や仮眠をとる人がいて問題になっているそうです。眠さや寒さ。公衆トイレで寝るまでいってしまうなんて、想像するだけで辛いのもわかります。「他の人の迷惑になるからダメ」なんてことは言わずもがなです。

⑧混雑する時間

山頂のトイレは、ご来光直後の朝5時～8時の間、トイレ混雑のピークとなります。人が少ない時を見計らって行っておくなどの心がけをしましょう。

⑨携帯トイレを使用した排泄物の破棄

使用済みの携帯トイレは荒川登山口や屋久杉自然館で捨てることができます。



仁王杉辺り（大株歩道入り口手前）の携帯トイレブース

●水場もたくさん

コース上に水場は多数あるので大量の水を持ち込む必要はありません。500ミリくらいのペットボトル1本くらい用意し、なくなったら汲む、なくなったら汲む、というパターンで対応できます。

5. 登山時の弁当について

昼食分を持参します。

6. 持ち物について

～登山編 2日目～		
装備・持ち物名	装備の説明	チェック
トレッキングシューズ	雨に強い防水性に優れたシューズがこのましい。	
ザック (リュックサック)	25リットル前後のもの。登山用のザックは疲れにくい。	
ザックカバー	ザックへの雨の浸入を防ぎます。なければゴミ袋で代用も。	
レインウェア	必須。上下に分かれた蒸れにくい素材のものがベスト。※夏場なのでポケットコートでも可。	
ヘッドランプ	日帰りでも必須。なければ小型の懐中電灯でよいが、手が塞がるのでなるべくヘッドランプを用意してください。	
※上記5点は、屋久島にてレンタル可。(ナカガワスポーツ店にて)		
肌着・アンダーウェア	ポリエステルなどの化繊のシャツが汗が乾きやすくおすすめです。長袖がベター。	
長ズボン	化繊のズボンを。ハーフパンツを履くなら下にタイツなどをはく。生足に半ズボンはケガをするので不可。	
防寒着	夏でも防寒着が必要です。薄手のフリースや長袖シャツなど。	
靴下	靴擦れや足の保護、怪我の防止のために厚手の靴下を用意ください。予備もあるといいです。	
帽子	日よけや頭の保護。レインハットがあると雨でも快適に過ごせます。	
タイツ	筋肉や腰、関節のサポートになります。筋力に不安な人におすすめ。	
替えのシャツ	シャツが濡れてびしょびしょになってしまった時の予備や防寒用としてもあるといいです。	
折り畳み傘	雨天時の移動であると便利です。	
水筒、ペットボトル	途中で水がくめるので、1本(500ml程度)あれば十分です。別途空のものを用意してもOK。	
タオル	薄手で乾きやすいものがあると便利です。	
ティッシュ	芯を抜いたトイレトペーパーは量があるのでおすすめです。	
ビニール袋(3枚程度)	ゴミや濡れた服を入れたりします。また、雨が降った際にリュックの中身を守るためにも使います。	
ジップロック	雨対策に最適!!何かと重宝します。カメラや携帯電話を入れたり、濡れて欲しくないものを雨から守ります。	
日焼け止め・リップクリーム	UV入のリップクリームは紫外線対策になります。唇が弱い方はお持ちください。	
携帯用トイレ	ルート終盤ではトイレがないため、必要に応じて使用します。	